

## 安曇野市生活支援体制整備事業の実施状況について (第2回安曇野市生活支援体制整備事業第1層協議体)

### 1 生活支援コーディネーターの活動

地域の集まりに出向いたり、各区での会議を開催するなどして、介護予防に関する本事業の紹介や支え合いの地域づくりの支援等を行っています。また、生活支援体制整備事業の広報紙「ほほえみのわ」を発行し、事業の啓発を行っています。

コロナ禍での新しい生活スタイルに留意し、参加者の意向等も確認しながら多世代交流の場づくりやサロンの立ち上げ支援などもすすめています。

また、第2層生活支援コーディネーターが所属する団体の関連事業とも連携し、介護予防に関する事業を進めています。

### 2 第2層協議体の活動

各協議体会議は、年6回を目安に開催をしています。各協議体で課題を話し合いながら、コロナ禍でもできる活動を模索し行っています。

#### (1) 豊科地域

高齢者等の移動に関する課題について検討をすすめ、移動支援の有償ボランティアを区内で実施する取り組みの支援をしています。各地域からの問い合わせも多く寄せられ、他地区のモデルになりそうです。

#### (2) 穂高地域

協議体会議でグループワークを開催し、各分野の委員が集まる中で、課題を抽出したり現在行っている取り組みで参考になる活動の情報交換を行っています。

また、コーディネーターが支援しながら、区内で困りごと等のアンケートを実施し、区民ニーズにこたえる形で有償ボランティアが立ち上がり活動を開始した例もあります。

#### (3) 三郷地域

協議体での話し合いのなかで、高齢者や地域の人が歩いていける範囲でサロンがほしいということになり、モデルになればとの思いで、地域の縁側的なサロンを始めました。他の区でもコロナ禍で休止していたサロン再開やコロナ禍を踏まえた新たな活動の動きがあり、協議体の委員が支援する例もあります。

#### (4) 堀金地域

地域支え合い体制づくりアンケートを区ごとに実施し、活動の課題を抽出しています。結果を分析し、今後の協議体や地域での活動の方向を探っていきます。

#### (5) 明科地域

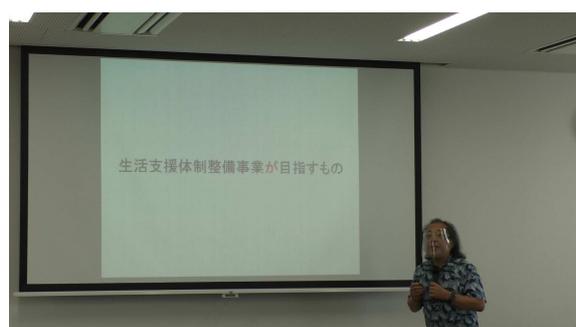
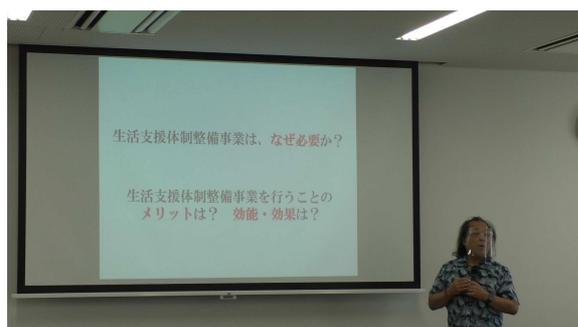
買い物支援やサロン活動など地域独自の課題に取り組んでいます。地域活動に男性の参加が少ないという課題解決に向け、「男のロマン塾」を開催したり、コロナ禍でも人が寄り合える場としての「まちの縁側づくり」の先進地事例を学習しています。今後町の「お宝」を見つけ、紹介していきたいと取り組んでいます。

### 3 協議体研修会

今まで取り組んできた本事業の今後の取り組みを考えるための参考とするため、協議体メンバーの入れ替えも踏まえ、本事業の目的を改めて学習し、先進事例を学ぶための研修会を8月24日(水)に開催しました。

当日は、全国的に本事業の取り組みについてフィールドワークを行っている「ご近所福祉クリエイション」主宰の酒井 保さんに、国が想定している地域包括ケア体制づくりなどについてご講演をいただいたり、各コーディネーターが日ごろ抱えている悩みについて相談する機会となりました。

#### 【講演の様子】



### 4 今後の活動について

生活支援コーディネーター及び協議体の活動をさらに進めるとともに、令和5年2月に市民を対象にした「地域支え合い推進フォーラム」を開催する予定です。内容は、上記酒井さんの講演を踏まえた各コーディネーターの取り組みを発表しながら、地域での支え合いを考える機会としたいと考えています。

市ホームページを活用したり、広報紙を発行し事業の周知を図ります。